

【特別展】

# 書簡からたどる 20 世紀日本・中国文人の交流

谷崎潤一郎、林芙美子、武者小路実篤ら日本文人から届いた**方紀生宛書簡**

開催期間:2023年4月24日(月)

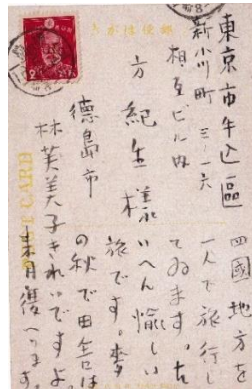
— 5月18日(木)※最終日は午前のみ

会場:北九州市立大学図書館1階ギャラリー(入館ゲート手前)

開館時間:平日・土曜 8:55-21:30

／日曜・祝日 10:00-18:00 (休館日5月3-5日)

◆入場フリー。学内・学外どなたでもご覧いただけます。



**方紀生** (1908-1983) は、日本による北京占領期 (1937-45) に駐日留学生監督として東京に赴任しました。文学好きの方は青年期に魯迅の弟である**周作人** (1885-1967) と面識を持ち、周を師と仰いで中国文人らと交流しました。1930年代に日本留学した方は、周を介して日本文人らとも親交を持ち、帰国後、日中の文学作品や翻訳を自身が編集する中国の文芸誌に発表しました。1944年には『**周作人先生のこと**』を編集、東京で出版しました。戦後、文化大革命で投獄されたのち名誉回復されたものの、その存在は日中関係史の溝渠に埋もれつつあります。

**方紀生**における日中文人との交流手段の一つが文通でした。日本在住の方紀生令嬢のもとには著名な日本文人からの書簡の数々が残されています。本特別展では、それらの貴重資料を初めて公開します。従来ほとんど知られていない20世紀日中文人交流の一端を感じてみませんか。

※本特別展は2022-2023年度北九州市立大学学長選考型研究費の助成を受けて開催します。

問い合わせ先 **鳥谷まゆみ** (外国語学部中国学科) [bird8may@kitakyu-u.ac.jp](mailto:bird8may@kitakyu-u.ac.jp)